

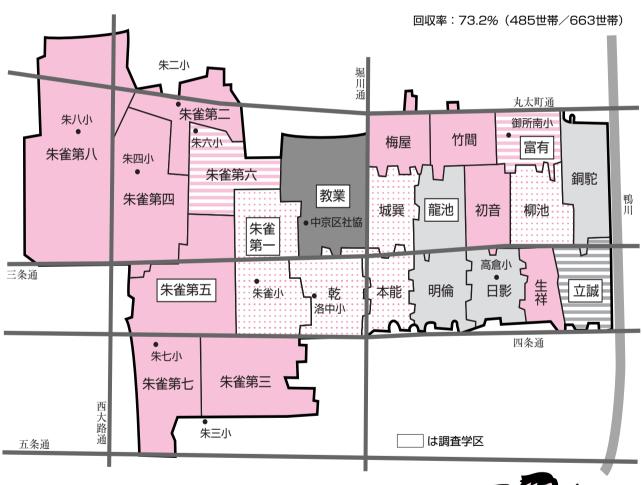
編集·発行 社会福祉法人**京都市中京区社会福祉協議会**

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2 TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829 http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06

中京区社会福祉協議会では、去る3月1日から9日まで中京区民生活実態調査「中京区民のくらしと地域福祉に関する実態調査」を実施しました。

調査にあたっては中京区の23の元学区を人口密度と30年間の世帯数の変化の状況から割り出した6つ

のパターンに分類をしました。その中からそれぞれ、 富有・教業・龍池・立誠・朱一・朱五学区の1.2ケ町 の663世帯のみなさまがたにご協力をいただいて、 調査員の聞き取りによる調査を行いました。





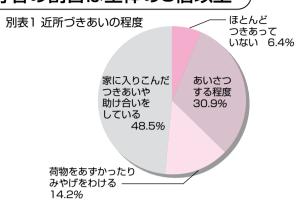


● 地域でのつきあいと生活問題意識 ●

ほとんど近所づきあいのない単身者の割合は全体の3倍以上

近所づきあい

近所づきあいの程度は<mark>別表</mark>①のとおりとなりました。「単身」世帯では「ほとんどつきあっていない」が20.2%でとなっており、中京区全体の率の3倍以上となっています。また、「分譲マンション」「賃貸マンション・アパート」で近所づきあいの程度が薄い割合が高くなっています。



なんとかせなあかん!! 路上駐車)

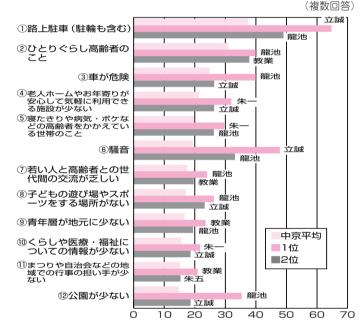
地域の生活問題意識

「あなたが住んでいる地域で、日頃、何とかしなければならないと思っていることは何ですか」という地域の生活問題について比率の高いものから順にあげると別表②のとおりとなります。京都市の中心市街地ということもあって車・自転車問題、高齢者問題の比率が高いといった特徴があります。また、新たなマンション等が建設され若い層の世帯数が増加していることの反映として、子ども・青少年問題に関するものも上位を占めています。



別表2 地域の生活問題意識 全体値と上位2学区の状況

(地域で日頃何とかしなければならないと思っていることペスト12)



● 高齢者・障害者の問題

「一緒にくらしているご家族の中で、高齢や寝たきり、病気・障害などのために介護を要する人がいますか」との間に対して、「在宅でいる」が40世帯(8.2%)、「病院に入院している」5世帯(1.0%)、

「施設に入所している」が3世帯(0.6%)、合計して48世帯(9.9%)の世帯で要介護者がいるという実態でした。

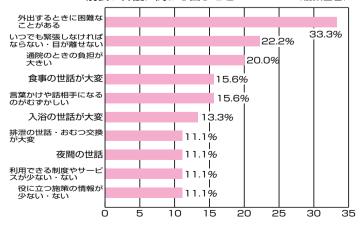
「外出するときが困るんです」

介護上の困りごと

別表®のとおり介護のことにかかわっての悩みでは、三大介護といわれる食事・入浴・排泄の世話もあげられていますが、介護保険上のメニューにないような外出支援や話し相手についても上位にあげられています。

別表6 介護に関わる困りごと





● 子どもの問題 ●

「心配なんですけど…」下校後子どもだけで過ごす小学一年生も…

子どもの昼間の様子

今回の調査では、中学生以下の子どもがいる世帯 は20.4%でした。

「昼間主に誰がみておられますか」との問で、「3歳未満」の場合は「親」以外では、「保育所」が8.7%となっています。「3~5歳」の場合は「保育

所」が25.0%となりました。「小学 $1 \sim 3$ 年生」の場合は、「学童保育(クラブ)」が8.8%となり、「子どもだけでいるも8.8%となっています。「小学 $4 \sim 6$ 年生」の場合は、「祖父母」の比率が40.7%となりますが、「子どもだけでいる」も11.1%ありました。

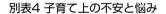
「子育て、悩んでます」核家族に多い声

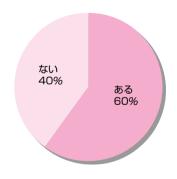
子育て上の不安と悩み

「子育てをしていて不安や悩みはありますか」との問に対しては<mark>別表</mark>④のとおりとなりました。就学前の子どもの年齢別にみた子育て上の不安・悩みについては、**別表**⑤のとおりとなっています。不安・悩みのなかでも「食に関すること」、「外出時の保育」「子育てのアドバイスがほしい」は「夫婦と子」といった核家族世帯において、相対的に高い比率となっていますが、「三世代」世帯ではほとんどあげられていませ

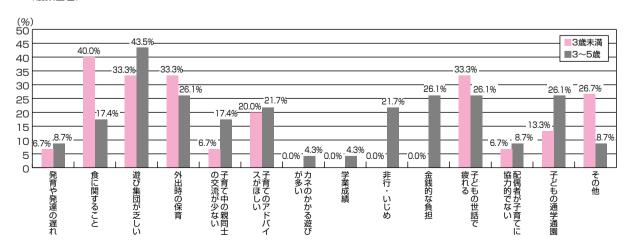
んでした。

また、近所づきあいの程度で「ほとんどつきあっていない」世帯で、子育ての悩みが「ある」世帯は71.4%と高くなっています。そして、「子育てのアドバイスが欲しい」(40.0%)、「子育て中の親同士の交流が少ない」(20.0%)といった項目が高くなっています。





別表5 就学前までの子育て上の不安と悩み(年齢構成別) (複数回答)



| ボランティア活動について |

「お友達が増えて生活にハリができました」

ボランティアに参加してよかったこと

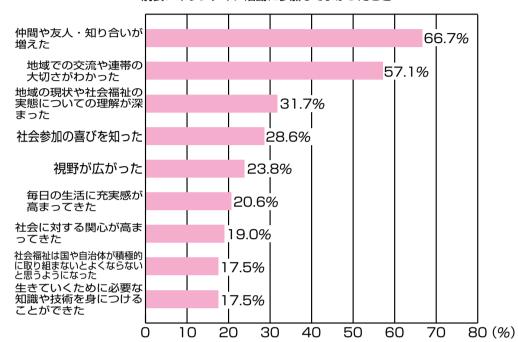
それではボランティア活動の状況についてみてみましょう。 ボランティア活動をしている方は全世帯の13.0%でした。「ボ

ランティア活動に 参加してよかった と思うことは何で すか」との問に対 する回答は<mark>別表</mark>⑦ のとおりとなって

います。







ボランティアをしてわかる、私たちのまちのこと

ボランティア活動と地域の生活問題意識との関係

さらに、別表®のように ボランティア活動に参加さ れている人はボランティア 活動やその他の地域活動に 参加をしていない人と比べ て、生活問題について指摘 をされる比率が高くなって います。これは、くらしや 健康に関わる具体的な活動 に取り組んでいく中でくら しや地域に目が向き課題意 識も高まっていった結果で はないかと考えられます。 その意味では、くらしや健 康に関わる地域活動の推 進・活性化が地域生活問題 の解決糸口になるのではな いでしょうか。

別表8 ボランティア活動などの地域活動の参加状況別にみた地域生活問題

